

よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議長（中村 実君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

15時20分まで、暫時休憩いたします。

〈午後3時07分 休憩〉

〈午後3時20分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき1回目の質問を行います。

1、行政改革について。

(1) AIによる経営分析とその活用について。

① AIの運用で「見える化」を図り、経営改善をした老舗食堂の報告がある。そこで、権現荘やスキー場などの収益事業でAIを導入し、経営改善を行う考えはあるか。

② 税収アップの視点から、市内中小企業に対して、AIによる経営分析導入支援や既存の各種補助制度の周知に取り組む考えはあるか。

(2) 外部監査の導入について。

外部監査の実施を求めて久しく、その間、職員の不手際、怠慢、認識不足による不祥事が絶えない。内部監査と並行して外部監査を行い、会計と事業内容の透明性を図る考えはあるか。

(3) 市民の満足度や成果を重視した行政の固定費改革について。

① 庁舎のエアコンや照明について市民の視点で行っているか。

② 各施設のエアコンの温度設定と職員の業務の効率化の検証を行う考えはあるか。

③ 公用車の法定点検率とドライブレコーダーの設置率は、どうなっているか。

④ 正職員と臨時職員の働き方改革として現在、何を行っているか。

2、観光誘客の手法改革について。

(1) アニメ、漫画、ゲームを利活用した取り組みについて。

① 株式会社ポケモンが行う「ポケふた」、これはマンホールのふたであります。ポケふたに参加する考えはあるか。

- ② アプリゲーム「ポケモンGO」による世界ジオパーク（ジオサイト）の連携と駅北エリアでの復興企画として連携を行う考えはあるか。
 - ③ 昨年の「宝石の国」フォッサマグナミュージアム特別展の成功を受けて、漫画「宝石の国」との連携したイベント開催を考えているか。
 - ④ アプリゲーム「一血卍傑（イチバンケツ）」に奴奈川姫の息子とされる建御名方（たけみなかた）の神が登場していることを生かし、コラボ企画を検討する考えはあるか。
 - ⑤ 市内を走る鉄道車両や路線バスと連携し、キャラクターラッピングや改造車両を展開する考えはあるか。
- (2) 糸魚川市全体で行う観光戦略について。
- ① 糸魚川のおいしいものの食べさせ方の工夫について、生産者・飲食店・観光業者のプロジェクトとして検討する考えはあるか。
 - ② 夜間型と早朝型のイベントの開催について、日帰りでは楽しむことができない通年企画を検討する考えはあるか。

3、安全対策について。

- (1) 小中学生の登下校における安全性の確保について。
- ① イノシシやクマなど危険動物の対策は、どうなっているか。
 - ② 不審者の声かけや連れ去りの対策は、どうなっているか。
 - ③ 通学路等の交通事故防止対策は、どうなっているか。
- (2) 防犯カメラの設置について。
- ① 自治会等のカメラ設置補助の申請状況は、どうなっているか。
 - ② 小中学校のカメラ設置の進捗状況は、どうなっているか。
 - ③ 市内幼稚園・保育園への設置は考えているか。
- (3) 高齢者の自動車運転事故の防止策について。
- ① 公共施設に隣接する駐車場において、ローラー付車どめを設置すべきと考えるが、採用する考えはあるか。
 - ② あおり運転などの事故抑止や事故の際の証拠画像となることから、ドライブレコーダー設置推進とその支援を考えているか。
- (4) 動物愛護と避難所の安全対策について。
- ① 狂犬病予防注射未実施の方への指導は、どのように行っているか。
 - ② 市民の安全のため、市内の飼育頭数の把握を行う考えはあるか。これは特に猫と、犬は管理されていますが、猫等を含めての把握であります。
 - ③ ペット同行避難の訓練の計画はあるか。

4、スポーツ振興について。

- (1) 「生き生きスポーツ都市宣言」について。
- ① 平成20年3月19日に告示されてから10年が経過している。当初目的の達成度と取り組みの成果をどのように考えているか。
 - ② 少子高齢社会の中でスポーツ都市宣言を推進するためには、市や県、学校や企業も含めた総合的な相談窓口が必要であるが、どのように考えているか。

(2) スポーツ施設や公園等の利活用と整備について。

少子高齢社会にあつて施設の維持管理は大きな課題であります。そのため、目的外使用も含め、積極的にスポーツ振興を図るべきと考えます。

- ① 陸上競技場 3 種公認の継続と陸上競技以外の使用への工夫はあるか。
- ② 美山野球場の両翼の拡大とそれによる大会誘致や合宿誘致の推進は、どのように考えているか。
- ③ 廃校になったプールの活用方法は、どうなっているか。
- ④ オリンピック種目になった、新しく競技種目となった競技への振興策はあるか。
- ⑤ 県内でプロリーグのある競技への振興策はあるか。
- ⑥ 2つのスキー場の通年活用に向けて、全国から活用方法のアイデアを募集する考えはあるか。

5、少子高齢社会を乗り切る政策について。

(1) 今年度の路線バスの運用について。

- ① 自動車を運転しない市民からの意見や困り事は、把握しているか。
- ② 中学生や高校生の意見や困り事は、把握しているか。
- ③ 現時点で乗り継ぎ時間の調整や増便の改善を行うものはあるか。
- ④ デマンド方式のタクシーやバスへの転換の考えはあるか。
- ⑤ 今後、バス利用者の声を聞き取りする計画はあるか。

(2) 難病や重度障害を持つ子供世帯への支援について。

- ① 市内で前例のない病気等の対応や支援方法は、どうなっているか。
- ② 在宅療養のためのリフォームや専用ベッドやバギーカー等の支援は、どうなっているか。
- ③ 定住人口策として集中治療室がある医療機関への通院支援などの検討が必要と思うが、どのように考えているか。

(3) ストレッチャーのある福祉車両の拡充について。

自力で動けない高齢者等のためにストレッチャー付車両が必要である。医療、福祉、介護などの施設などから急な入退院がある場合に必要となるが、関係機関とタクシー会社への拡充支援の考えはあるか。

6、糸魚川市のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて。

糸魚川市はSDGsと世界ジオパークの共通性を市民に周知してきた。SDGsでは、「誰一人取り残さない」という崇高な理念を掲げ、169のターゲットの、実に90%以上は、人権と労働基準に関連している。また、SDGsの達成に向けては、各分野における現状のやり方の延長線上ではなく、根本を見直すような「変革」や「イノベーション」が必要となる。

SDGsの目標やターゲットはさまざまあるが、糸魚川市でも既に自然エネルギーの導入、グリーンカーテンの実施、ごみの分別、20・10・0運動として食品ロス削減の活動などの形で、SDGsに関連した施策に取り組んでいる。今後は17の目標ごとに「SDGsのわが町ごと化」することが、第一歩となる。地域にふさわしい評価指標を設けることが重要となり、数字としての「見える化」したローカライズ指標と評価できる仕組みをつくる必要がある。糸魚川市の目標設定や具体的な取り組みの考えや方針を伺う。

以上で、1回目の質問とさせていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、その分析内容や有効性等を研究した上で活用について検討してまいります。

2つ目につきましては、商工会議所や商工会などでは、補助制度の周知を含めIT導入の支援を行っておりますが、AIの活用と普及は、相応の時間が必要であると考えております。

2点目につきましては、内部監査の充実とともに外部診断の導入の検討を始め、昨年末から情報セキュリティ監査を外部による監査委員を活用し、一部実施いたしているところであります。内部監査及び外部診断を活用し、引き続き適正な業務執行に努めてまいります。

3点目の1つ目と2つ目につきましては、地球温暖化や経費削減の観点から、基準を設けて運用しているところでありますが、毎年度実施してる来庁者へのアンケート等により、意見をお聞きする中で、施設内環境の充実に努めてまいります。

3つ目の法定点検率につきましては、100%であります。また、ドライブレコーダーの設置率につきましては、現在73%となっておりますが、年度末までには100%となる見込みであります。

4つ目につきましては、ノー残業デーのパソコン使用制限や朝礼等での業務スケジュールの共有化を行っているほか、タイムマネジメントなどの生産性向上研修を行っており、今後も働き方改革につながる取り組みを行ってまいります。

2番目の1点目につきましては、アニメや漫画など若い世代や共通の趣味を持ったお客様をターゲットとした観光誘客は、効果的であると考えており、28年にポケモンGOと市内ジオサイトを紹介するホームページを公開し、観光誘客に活用しているところであり、それぞれ費用対効果を踏まえて検討してまいります。

2点目の1つ目につきましては、日本版DMO登録法人である観光協会で関係者を巻き込み、進める必要があると考えており、市も一緒になって取り組んでまいります。

2つ目につきましては、現在実施している伝統芸能や各種イベントを宿泊につなげるよう検討してまいります。

3番目の1点目につきましては、野生動物や不審者の目撃情報等を各学校、保護者、地域と共有し、集団下校や地域への見守りの要請を行うとともに、各学校において交通安全教室や不審者対応等の避難訓練を実施しております。

また、交通安全指導や通学路の安全点検を行い、関係機関と連携して安全確保を努めてまいります。

2点目の1つ目につきましては、現在、申請件数は2件となっております。

2つ目と3つ目につきましては、個人情報保護等の課題はありますが、設置に向けて検討いたしております。

3点目の1つ目につきましては、効果的な研究をしてまいります。

2つ目につきましては、交通安全及び防犯対策の面においても有効であり、検討を進めております。

4点目の1つ目につきましては、接種が確認できない飼い主は、文書で指導をいたしております。

2つ目につきましては、犬の登録件数は把握しておりますが、猫なども含めたペット全体の飼育頭数は把握いたしておりません。

3つ目につきましては、今後、総合防災訓練などに合わせ、実施を点検してまいります。

4番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願いいたします。

5番目の1点目の1つ目と5つ目につきましては、路線バス再編の計画策定当初より、地域との意見交換などの機会を通じて把握に努めております。利用者の声を広く聞き、利便性向上につなげていくことが大切であり、今後も継続してまいります。

2つ目につきましては、中学生保護者への説明会や中学校、高校への訪問により、ご意見を伺っており、特に緊急性を有する問題は生じてないものと捉えております。

3つ目につきましては、地域や利用者の意見を聞き、運行事業者と改善について検討を進めております。

4つ目につきましては、まずは今ある路線バスの利便性向上と効率化を優先していくことが重要と考えております。

2点目の1つ目につきましては、難病の場合は県が主体であり、市と連携して対応しております。

2つ目につきましては、障害の等級などにより、各種助成制度がございます。

3つ目につきましては、障害者に対する交通費助成を行っておりますが、助成内容の拡充について現在検討いたしております。

3点目につきましては、関係機関と意見交換した上で必要に応じて支援策を検討してまいります。

6番目につきましては、市で取り組んでいるもののほとんどがSDGsの17のゴールに通じる取り組みであると考えており、第2次総合計画の中でも目標値を設定し、取り組んでいるところがあります。SDGsの理念や考え方を意識して取り組むことを基本とし、職員や市民に向けての周知に努め、行動につなげていきたいと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

保坂議員の4番目のご質問にお答えいたします。

1点目の1つ目につきましては、実施計画の施策指標などを見ても、年齢や目的に応じてスポーツに親しみ、スポーツが持つ意義が浸透してきていると認識しております。

2つ目につきましては、総合的相談窓口は、行政が担うものと認識しております。

2点目の1つ目につきましては、陸上競技場の公認は、次の審査に向けて検討してまいります。

また、サッカーやゲートボールの試合など管理に支障のない範囲で使用しております。

2つ目につきましては、美山球場の両翼について、現時点では外野の拡張は考えておりませんが、今後も引き続き大会、合宿の誘致に取り組んでまいります。

3つ目につきましては、プールとしての活用は考えておりません。

4つ目につきましては、特別な策は考えておりませんが、初心者向けの教室開催などを行ってまいります。

5つ目は、夢づくりスポーツ教室の開催や試合招致事業などにおいて、支援・協力させていただいております。

6つ目につきましては、現時点では、全国からのアイデア募集は考えておりません。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

まず、AIによる経営分析についてであります。具体的に名前を挙げてもよろしいかと思しますので、老舗食堂とは、有限会社ゑびやといいます。会社は、2000年の歴史を持つ伊勢神宮、三重県伊勢市の鳥居近くでゑびや大食堂とゑびや商店を経営しております。経営改善の結論からいいますと、5年ほど前から従業員は変わらないのに売り上げは4倍、利益率は10倍になっているということであります。

糸魚川市では、行政改革というと事業の縮小や統廃合、また事業廃止、人件費の削減、臨時職員の採用、また外部委託事業の民営化や節電などが中心と思っています。しかし、これからは、単純なスリム化から本質的な効果を求める行政改革を行うべきだと思います。

そこで、先ほど研究して検討するという回答をいただいたんですが、もう少し具体的なAIに対しての市の取り組み方というものを教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

商工観光課の観点から、スキー場等につきましてはのと、あと中小企業ですとか小規模事業者に対してのご回答を申し上げます。

AIにつきましては、経営分析のほか経営改善等、さまざまなメニューといいますか内容があるというふうに理解しております、それを使いこなすためのデータの収集等も必要でございます。それらを踏まえまして、今後、検討してまいりたいということでございます。

あと中小企業ですとか、小規模事業者につきましては、まだこのAIによる経営分析、改善というところまでには相当の時間がかかるだろうということございまして、日本商工会議所の中でも今のところ経営分析にAIを取り入れる動きはなく、当面は、安価で便利なITサービスの普及と活用を推進するというところで書かれております。

いずれにいたしましても、今後有効な手段であることは間違いございませんので、状況を見きわ

めながら対応しまいたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ちょっと時間をかけてというような言い方されてるんですけども、なぜ私、AIにこだわるかというのは、今の子供たちが就職していくときにいろんな社会背景が変わっていくと思ってるんですね。だから、いち早くこういったものを行政や地元の中小企業が必死になって研究・勉強して、そのいいところを生かしていく。それによって、今、人手不足という背景があるわけですよ。それをいかに効率よくこの事業をしていったり、事業の継続を図れる工夫がないかというところを見つけるための導入なんで、余りのんきに考えていると逆に意味がないというか、そういうスタイルなんですけども、その辺いかながなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、議員からお話のありました老舗食堂の例によりますと、AIによる来客の予想をもとに作業の効率化ですとか食品ロスの削減ですとか、従業員の負担軽減等が解消されたというふうにお聞きしております。そういう何ていいますか早急にこういうものに取り組むことによって対応できるものもありましょうし、また、その内容を見きわめながら行かなければならないものもあるというふうに考えておりますので、その辺は少し勉強をさせていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

今いろいろ調べると、ほかにもいろんな養蜂ですね、蜂蜜で、IoTを使ったりAIを使ったりして成功してる例だとか、あと何かAIを活用したソリューションの自動化という、何か大学が行ってるものとか、いろんな今取り組みが出てきていると聞いております。今、全くやらないと言ってるわけじゃないので前向きに捉えてますけども、ぜひ何ていうのかな、将来の子供たちがこの地域で働ける環境を整える意味でも、そういったものをぜひ積極的に取り組んでいただきたいと思います。

もう一点、さっきの中小企業の補助制度の関係なんですけど、昨年、公明党で100万人アンケートというものを全国的に展開しました。そのときに中小企業の皆さんのところへ行くと、やっぱり制度があっても知らなかったとか、申請手続きがやはり面倒ぼく感じたのでやらなかったとか、そういう声がありますもんですから、お互いに忙しい中ではありますが、そういういい制度があるということをご周知を徹底していただきたいと思います。その辺いかながなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

I T関係の補助金につきましては、経産省ですとか、あと新潟県、あと新潟産業創造機構等でのメニューがございます。議員おっしゃるように、募集期間が決まっておったりしておりますので、こういうものも積極的に今の時代に合わせて、積極的に周知をしていく必要があるというふうに考えておりますし、商工会議所、商工会とも一緒になって取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次に、外部監査の導入のところではありますが、先ほどの答弁でも情報セキュリティについて外部監査を導入したとありますが、私からするとイメージ的に会計であるとか、事業内容のことが気になっております。特に事業内容として、設計費の積み上げですよね。根知の診療所、須沢のごみ処理場、市民プール、あと駅北広場の設計、事業費のあり方、こういったものがやっぱりいろいろ行政側の説明を受けていると非常にアバウトに感じてしまうものですから、こういった積み上げの仕方だとか、ほかの施設との比較対照の仕方であるとか、そういったものがもう少し議会にも、また市民にもわかりやすい説明ができるために、そういう意味で外部の目を見ていただくという観点なんですけど、その辺の外部監査の考え方がなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本総務部長。〔総務部長 山本将世君登壇〕

○総務部長（山本将世君）

お答えいたします。

外部監査につきましては、基本的には県または政令市が義務づけられておりまして、私ども市の部分につきましては、努力義務的な部分の扱いになるところでございます。

自治法が定めております外部監査につきましては、包括的な外部監査と個別の外部監査というような形がございまして、今、議員がおっしゃった部分については、個別的な外部監査、目的を持ったところのポイントでの外部監査ということになるかと思えます。そういった部分につきましては、少しやはり専門職が行う部分の中で、今実施しているところの状況を見ますとやはりお願いする部分の、経費的に大きな金額がかかっている部分ございまして、その辺をもう少し確認いたしませんと、直ちにとすることは難しいなというふうには思っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私からしますと、市の職員の不祥事において怠慢と不手際と認識不足の解消に向けて、今まで職員研修によって改善を行うという回答をいただけてきました。

ただ、なかなか改善されない実態もございます。意図的なミスは絶対に許されませんが、多くの場合は、きょうほかの議員の答弁にありました職員の異動や経験年数、あと繁忙期、あと家庭事情など、さまざまないろんな要素が結びついて、ミスとか失敗をするものと思っております。

そこで、定期的に外部によるチェックが入ることによって緊張感を持たせる。そういう意味では、私は効果があるので、経費がかかるというとなかなかこっちも言いづらいんですが、これまでのいろんな経過を見ると、一度、二度ぐらいはやっぱりやるべきではないかなと思うんですが、その辺いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

経費のかかる部分というのは別にしても、やはり外の目で私どもの業務を見ていただくということとは非常に大切だと思っております。今、地域の企業に学ぶという取り組みをしております、地域の企業あるいは金融機関等のお話を聞く中で、あるいは見せていただく中でどうやってやっていけばいいか、また、それを一歩進めて、来ていただいて私どもの業務を見てもらうと。外から来ることによって、また緊張感というものも生まれてこようかと思っておりますので、その中で先ほど市長が申し上げた外部による診断、外部による見ていただくといった活動を進めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひ積極的にお願いいたします。

次に、固定費改革のところでお願ひします。今回、エアコンのことで節電してるのは十分わかっておるんですが、特に夕方以降にエアコンが切れることによって、庁舎を使っての子供たちの研修会であるとか、各種事業の説明会、また市民を対象とする説明会や会議の開催、夕方5時に切れて、暑いという経験をされた方もおられますし、私自身も経験しておりますので、こういったところは会場をかえるなり、またはここでやらなければいけない場合には、その辺のエアコンの設定というものも考えなきゃいけないと思うんですよね。それがちょっと誰本位で会議やってるのかなというのが気になったものですから、その辺の改善を求めたいと思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

現在のところ暖・冷房につきましては、8時半から午後5時で切ってるという状態であります。費用なんですけども、1時間の会議をやりますと電気料が、大体ご家庭の1カ月分ぐらいの電気料

がかかるといったことでありまして、非常に多額の金額がかかると。これはどういう理由かと申しますと、庁舎全体を1台の機械で冷やしております。ですので、1部屋であっても大きな機械を回さなければならないということでもあります。これまで個別に、例えば会議室を冷房できないか、暖房できないかという検討を進めてまいりましたが、室外機の問題や配管等の問題があつてなかなか難しいといった中で、この庁舎、今1台で回してるんですけども、これを分割して、例えば5台とか6台に分けたユニットで動かすことによって、小さな電気で部分の部屋を暖めたり冷やしたりすることが可能だということでもありますので、庁舎完成してから四半世紀がたって、そろそろ設備の改修時期になってこようかと思っておりますので、その中でそういった分散型の冷暖房機を導入したいと考えておりますし、それまでの間につきましては、市民会館もリニューアルしたということで、今、職員のほうには、できたら市民会館があいてれば、それを使ってくださいといったような案内をさせていただいておりますので、いろんな知恵を出しながら、議員の言われることは、まことにもっともだと思っておりますので、対応してまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひ善処していただきたいと思えます。

次に、温度設定ですね、庁内とか公共施設の酷暑における庁舎、事務所、図書館、学校等の公共施設のエアコンの設定温度についてであります。今現在28度設定であるかと思えます。国全体が多分そうなんだと思えますが。

本年度、皆さんもご存じかと思えますが、兵庫県の姫路市において、医師である市長のトップダウン方式では25度設定による実証実験が行われております。その理由は、職員の仕事の効率が6%アップできる計算があるそうであります。現行の28度設定よりも25度のほうが作業効率上がるため、結果的に残業が減るという理屈であります。世界の基準的設定温度は、おおよそ23度から24度だそうであります。

こういったことから、この温度自体で即その仕事の効率が変わるかどうかというのは微妙なんですけど、ただやってみる価値はあるのかなというふうに思いましたので、今回提案しているんですが、その辺のご検討いただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

今、保坂議員がご指摘の市につきまして、マスコミ等の報道はちょっと確認とれなかったんで、直接電話でお話を聞く機会を得ました。それ見ますと、疲労感、快適性、業務効率などの項目について現在、職員向けにアンケートを実施していると。結果集計中であるが、8割程度は好意的な意見であると。市民のほうなんですけど、中には民間は28度でやってるのに何でその温度にするんだという批判的な意見もあるけども、おおむね好意的だということで、現在集計中だそうであります。

こうしたほかの市の事例等を検証する中で、糸魚川市にとってそれが有効かどうか、費用対効果を含めながら考えていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

それから法定点検は100%、もう一つドライブレコーダーも100%に向けて動いてくださるということで、非常に感謝いたします。これがまた職員の身を守ることにもなるかと思っておりますので、本当にいい取り組みかと思っております。

続きまして、2番のアニメ、漫画、ゲームの利活用であります。

ポケモンのマンホールぶたの設置であります。これはことしの7月31日に株式会社ポケモンでは、ポケモンがデザインされたマンホールぶたを設置し、各地域の来訪客をふやす取り組みが進められております。このポケふたは、今、鹿児島県の指宿市を初め、岩手県内では13市町村の設置を公表しています。これを全国展開するというものであります。

ぜひ次の世界のジオパーク、ジオサイトのポケモンGOとも連動するんですが、こういったアニメのキャラクターを生かしてジオパークであるとか糸魚川であるとかを、逆に売り込んでもらいたい、そういう誘発する使い方をしていただきたいということで今回提案したんですが、ポケモンのマンホールぶた、たかがと思えますけども、逆に糸魚川のオリジナルのポケモンのふたがつくわけですから、そういったものをぜひ検討していただきたいんですが、その辺いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ご提案のポケふたにつきましては、確かにここにしかないポケモンのマンホールぶたがつくものですから、まち歩きですとかそういうものについても大変有効であると思えますし、ポケモンGOにつきましても、今ホームページ上でいろいろ、ここに行けばこのポケモンがということで公開をしておりますけども、引き続き、まち歩きですとか市内を回遊していただける仕組みとして検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひポケモンぶたもそうですし、ポケモンGOについても比較的自治体に取り組んでいるものがありますので、そういったものをぜひ参考にさせていただいて、子供から、お年寄りにも何か人気があるそうなので、ぜひお孫さんと一緒に回るようなプランとかもつくって、目的は世界ジオパーク糸魚川、あと糸魚川の石のまちというのと結びつけて、ぜひ展開していただきたいと思っております。

次に、昨年、本当に評判がよかった宝石の国であります。ぜひぜひこの機会に糸魚川と宝石の国の何ていうのかな連携というのを定着化していただきたいんですが、その辺の検討というのとは

きますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

シティプロモーションで石のまちを標榜するとともに、昨年行いました宝石の国のイベントにつきましても大変好評であったということから、また来年度に向けていろんな方のお知恵をいただく中で、新たな取り組みについてできないかということで考えてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひよろしく願いいたします。

次に、一血卍傑（イチチバンケツ）というアプリゲームであります。これは本当受け売りで8月27日の奴奈川経済懇話会の折に中田土木部長さんよりご紹介いただいたゲームであります。調べるとやはり奴奈川姫の息子である建御名方（たけみなかた）の神というのがキャラクターとして登場してくると。要は、いろんな角度から糸魚川を知ってもらうという部分でぜひこれも活用していただきたいんですが、その辺いかなるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

このアプリゲームに建御名方が登場するというので、私も少し調べてみましたら、オオクニヌシというキャラクターもあるようでございます。いずれもほかの神様なものですから、その辺の、何といいますかうちで使うことの関連性も含めてどうなのかなというふうにも思いますけども、こういうゲームがあるということで、また何か機会があればこういうものにもチャレンジしてみるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

緩やかな取り組みになるかと思いますが、ぜひよろしく願いいたします。

次に、5番の市内を走る鉄道車両のところでもあります。今回、非常に行政に感謝申し上げたいのは、6月議会で大糸線を生かすまちづくりのところ、子供向けの企画列車を検討するという回答をいただいて、きのう、おとついでですかね、子供の車掌でちゃんと制服も用意して取り組むと。しかも本当に走っている列車を使ってやると。これは多分すごく画期的なイベントになるかなと私本当に期待しております。

将来的には、本当こういう車両の中で、私の中では将来的には運転するシミュレーターみたいなものを、それも子供用のものですが運転してみるというそういうものもつけられたりしたら、普通の通勤とか通学ということよりもイベント列車化をぜひ進めていただきたいので、今回のまたいろんなデータを取りながら、また新たなチャレンジもしていただきたいんですが、そういう方向性で大糸線、えちごトキめき鉄道もそうですが、ぜひ考えていただきたいんですが、その辺いかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

車掌体験の列車も先ほどの質問にも答弁をいたしました。大糸線活性化協議会の中で意見として出てきまして、今回初めて取り組むものでございます。今回、大糸線ですが、当然、田原議員の質問にもございましたけど、もう少し広い視野を持った取り組みも必要ですし、今回の場合には、大糸線に関心を持っていただく、かかわっていただくということで、子供のところにターゲットを絞って企画をしたものでございます。これからもさまざまなそういう取り組みによって観光利用とか生活利用、あと鉄道そのものに興味を持ってもらうとか、そういう活動のほうを続けていきたいというふうに考えておりますので、またいろいろご提言をお願いしたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

すみません、ちょっと質問が飛びますけども、3番の動物愛護と避難所の安全対策をちょっと聞かせてください。

狂犬病の予防注射を行わない方への指導について文書でというふうにあるんですが、県が主導でやるのか、糸魚川市が主導でやるのか、現在1人も漏れなく予防接種されてるかと思うんですが、されない方がいたときの具体的な対応というのをぜひ教えていただきたいんですが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

犬の登録件数は、昨年度末で1,520頭となっています。そのうち狂犬病の予防注射を接種されているのが1,376頭、約91%となります。それ以外の方につきましては、先ほどの答弁のとおり文書にて注射がなぜ打てていないのかという確認をさせていただいております。

ただ、これにつきましては、例えば高齢であったり病気であったりして、注射をできない犬とい

うのもいますので、そういったものにつきましては、動物医の猶予証明などをもらっていただいて確認をとらせていただいているということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

何でもここにこだわるかというのは、やっぱり同行避難のときのことを考えているんですけども、ただ91%で、今災害に遭ったときに狂犬病の予防注射をしてない方が同行避難で来たときの対応というのは、どういう形になるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

避難所のペット対応につきましては、避難所に動物が来た際には、ペットの登録カードというものにわんちゃんとか猫の状況ですとか接種している状況ですとか、そういったものを書いていただくものを提出していただいております。そういったものによりまして、接種していない、いるなどがおられる場合については、例えば分けておくとかそういったような対応になるかと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

分けておく、接種されてない犬とかその持ち主はどうなるんですか。接種されてないことが判明した場合はどういう対応になるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

避難所では、小規模な避難の場合については、一緒にいていただくことも可能なんですけど、大きな避難になりますと、動物等はそちらの指定の場所等に一旦移動していただくことになりますので、そういったところでエリアを分けて保護するというような感じでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私が聞きたいのは、ちゃんとゲージに入れて人に触れないようにするとか、そういう何ていうかルールがきちっとできてるかということを知りたいんですけども、あとそういう接種してないということがちゃんとわかるようなところで管理するとか、何かそういう手だてというのを、要は具体的に知らされてないと思うんですよね。そのためにやっぱりペットの同行避難の訓練だとかそ

ういうものを周知していただきたいと思うんですが、今後、具体的に今その計画というのは、どのような、ペットの同行避難については。計画の今、進捗状況とかどうなっていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

ペットの避難の際に対しましては、今おっしゃいますようにゲージで移動されてくる動物もいますし、直接避難してくる動物もいるかと思えます。そういったものも含めて避難するエリアというのを区別したいというふうに思っておりますし、現在、避難所の設営の中で、この避難所ではこういった場所に動物を配置するというような計画もつくっておりますので、そういったものの中で対応したいというふうに考えてます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ペットの同行避難の訓練については、今ゼロベースという感じなんですか。それとも何かある程度、計画が進んでいる状態でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

現在のところ避難訓練等の中に入っておりませんが、今後の防災訓練等の中で組み込みながら実施をしたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

明確な日時がいただけないので、まだちょっと曖昧なのかなというふうに思います。

次に、ちょっと番号4番、スポーツ振興についてであります。

この生き生きスポーツ都市宣言のところの2番のところちょっと具体的な事例を挙げて紹介したいと思います。

6月定例会の質問で、子供のやる気を削がないための支援や施設整備をお願いいたしました。そのとき小島課長より、学校体育と社会体育のこととなるので検討する旨の答弁をいただいております。学校体育、社会体育、また市と県など所管がはっきりしないものについての対応は、スポーツ都市宣言のまちとして取り組むべきだと。先ほど答弁でも行政が行うものというふうにいただきました。

そこで、1つの例なんですが、市内にある県立高校の野球部のグラウンドのナイター照明や悪天候時の屋根つきのブルペン、過去に野球部のOB会や講演会、部活の保護者会などが呼びかけて、

高校に寄贈をしております。現在、その照明が10灯あるうち、5灯が球切れで、安定器も故障している状態であります。部員の数や欲しい施設が、高価なため我慢をしているというのが現状であります。

つまり、課外活動、部活ですね、課外活動である部活の照明機器となると、県や市の備品として扱いが難しいという背景がございます。ただ、いざというときに学校ですから避難所として重宝される機器でもありますので、糸魚川市の市民や糸魚川市にある高校に通ってる生徒のことを考えると、スポーツ都市宣言しているまちとしての部分と、あと災害時の避難所機能という部分で、こうしたものについて相談できるような体制をぜひつくってもらいたいなということで、今回提案したんですが、その辺、先ほど行政で行うと言われましたけども、どの程度対応できるものか、ぜひ教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常に高等学校の施設というのは、非常に難しいところございまして、以前もそういうのが例にありました。市が、じゃあ新潟県がやらないから、じゃあ市がやるということで進めたんですが、直前でそれはだめという形もありました。また、逆に違った形で積極的にぜひお願いしますというようなこともございまして、ケース・バイ・ケースで一概にはなかなか判断できないかな、我々今までの流れを見ておまして、最近がうまくいったから、ずっとうまくいくのかなということになると、全てじゃないような気がしますので、具体的なものについてやはりどうあるべきかという形になっていくんだろうと思っておまして、個々によって違う部分があるかと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

まさにケース・バイ・ケースなんですけど、その窓口を糸魚川市としてやっていただけるのかというところを確認させていただきたいんですけど。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

お答えいたします。

糸魚川市のほうで当然仲立ちをして、県のほうに働きかけるという、そういった対応はさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次に、スポーツ振興のところの陸上競技場ですね、今、3種の公認をとっていただいているんですが、投てき用の防御ネットがすごく高額なため、その取り付けが何か危ぶまれているというような話を聞きました。もしそれがなくなると、4種というふうに降格されてしまって、そこでできる競技体がまた変わってくるんですけども、非常に高価なため、その辺が難しいいんでしょうが。要は、ネットがある場合、ネットがない場合の糸魚川市として陸上競技場をどう活用していくのかとか、どの程度の大会を誘致していくのかとか、そういうプランニングというのは非常に大事かと思うんですね。場合によっては、高価なネットであってもいろんなイベントであるスポーツ大会であれ誘致するんであれば、長い目で見ればやったほうが良いということにもなりかねないので、その辺の検討の内容というのをどういう形でやられているのか、ぜひ教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小島生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 小島治夫君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（小島治夫君）

お答えさせていただきます。

30年度の3種の公認の際に、検定員から投てきサークルについては検討課題ということで、意見つきで承認をいただいたところでございます。

投てきサークルにつきましては、やはり競技人口が少ないといったこともあって、なかなか高額でもありますので、対応については苦慮しているところでありますが、現在、今回の公認の際までに、現在も協議させてもらっているんですが、陸上競技協会とその辺の競技の内容だとか活用について、若干意見交換をさせていただいたところでございますので、陸上競技以外の競技の活用も含めて、そういった関係者と今後意見交換をする中で検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私としては、ぜひ3種を何とか守っていただきたいなというふうに思うんですが、使い方によっては4種になってももっと効果的な使い方があるんだということであれば、また紹介していただきたいと思います。

次に、美山球場の両翼についてであります。この野球場にこだわってるのは、AEDの関係でBCリーグさんがMIKITO AEDプロジェクトをやっていたりとか、あと今回、北陸新幹線の開通に伴って、いわゆる北信越エリアで見たときに、やっぱり糸魚川というのは1つの結節点というか、富山、石川、福井、長野、新潟という部分で考えたら、本当、中心地点になるので、ここでやっぱり野球というものを交流試合だとか交流合宿とかというのをぜひ積極的にやってほしいんですね。そのために両翼を拡幅したほうが良いのかなという観点で思ってるんですけど、そういう積極的な取り組みというのは、今現在考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小島生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 小島治夫君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（小島治夫君）

お答えさせていただきます。

教育長の答弁にもございましたとおり、今のところは拡張よりも施設の環境等に重点を置く格好で進めてまいりたいというふうに考えておるところです。

BCリーグにつきましては、MIKITO AEDプロジェクトということで毎年開催をさせていただいておるところであります。昨年度の管理棟内の施設整備について、ことしの開催については大変喜んでいただきましたし、95メートルについてもお話しさせていただいたところありますが、特段、BCリーグさんにつきましては、こだわらないという回答もいただいております。合宿等におかれましても芝生、水はけがいいという環境も含めて大学等の誘致にPRし、努めてまいりたいというふうに、現状では考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひ、要は糸魚川を利用していただくという観点でぜひ検討していただきたいと思います。

次に、オリンピック種目になった、要はバスケットボール、いわゆる昔はスリー・オン・スリーと言ってたんですが、今はスリー・バイ・スリーというんですかね。ぜひ以前も屋外のバスケットボールのゴールの設置をお願いしているんですが、その後、何か進捗はありましたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小島生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 小島治夫君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（小島治夫君）

お答えいたします。

小学校のときに行っていた生徒が中学校に進学をし、今現在、大人の一般の方と合同の練習をしておるところでございます。4月に入りまして、練習等を見学させていただいて、その後、意見交換を、若干の雑談でございますが、意見交換をさせていただいたところございまして、競技人口については、能生地域であります。なかなかふえていないのが実情であります。名立からの生徒も含めて練習をしておるところでございます。

ジュニアのミニバスケットの保護者等については、まだ協議する場を設けてはおりませんが、近いうちに設けたいという話はさせていただいてるところでございますが、なかなか以前にもお話ししたとおり、設置する場所等、安全確保を考えるとなかなかないのが実態であります。現在のところはそんなような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ことし、お隣の富山県からの身長203センチの八村 塁さんがワシントン・ウィザーズというアメリカのバスケットボールチームに入ったと。要は、子供たちの夢をかなえる。またやりたいスポーツができる。そういう環境整備という観点で、要は競技人口が少ないからというのは逆説的にとると、やっぱりそういう場所がなかったり指導者がいなかったりという理由にもなるんですよ。そういう観点で、もう少し突っ込んだ検討をぜひお願いします。いつか前向きな回答がいただけるのを期待して待っております。

続きまして、5番目の少子高齢社会を乗り切る政策についてであります。

バス路線につきましては、いろいろご意見いただいております、9月5日の日ですか、大和川地区の方10名ぐらいの方と意見交換をする機会がありました。いろいろお話を聞いていると、やはり前のルートのほうがいいという声が大半でありました。現在の路線バスも本当に行政もバス会社も苦勞してつくられたルート帯でありまして、そのことも私のほうからも訴えさせていただきました。

ただ、一度、バスの、例えば竹ヶ花地区がエアポケット状態になっているとか、あと早川の奥のバスの停留所の位置がまずいということが意見としてあったりとか、やはりもう一度この機会に意見徴集をして、できる、できないは別にして、何かまた工夫ができることを検討する意味で聞き取り調査というものを早急にやっていただきたいなと思うんですが、その辺の考えいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

過去に交通網の形成計画、基本計画をつくってまいりまして、その後、再編実施計画、昨年度は、その再編実施計画に基づきます路線バスの実際のダイヤ設定というものをいたしまして、昨年秋の一部、ことしの4月から本格的に再編実施計画に基づく新しい再編ダイヤを運行させていただきました。

これまでに春の再編以降、非常に多くの声、あと便り等をいただいております、やはりその中では、乗り継ぎ、糸魚川病院で日中のダイヤは乗り継ぎというものを求めております。乗り継ぎ方がよくわからないですとか、乗り継ぎというのが負担になるとかという声が多くいただいております。それ以外は、再編後のダイヤでちょっと時間帯が不便になったというのも多くいただいております。その辺のデータ分析みたいなのを私どもは進めておりまして、本来の予定ですと、ことしは今まで再編実施計画でなかなかちょっと地域に入っていけなかった青海地域ですとか、コミュニティバス等で運行しとる中山間地のほうに入っていく予定にしようとしたんですが、それと並行しまして、特に糸魚川病院で乗りかえを、結果的に日中ダイヤで強いることになってしまった東側の西海のほうですとか早川の方面の方に当然、大和川もその路線に入ってくるんですが、その方とも今後、出向きまして、意見交換というものを始めているところがございます。それとあわせまして、現在バスの中で実際にバスに乗っていただくとというお客様からも、今アンケートによって意見等を収集しまして、できる改正、できる調整というもののあり方というのを今考え始めてるという現状でござ

います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

課長のほうでも大分把握されているようです。皆さんも手づくりの時刻表を持っていて、工夫されてたりとか、あとこのバスがどこへ行くのかわからないという不安にさいなまれながら利用しているとか、あと駅の南口と北口、要はアルプス口と日本海口での利用の仕方がよくわからないとか、いろんな声を伺っております。そういった点をまたぜひ確認していただいて、善処できるところは善処していただきたいと思います。

次に、今回お話を聞いててつくづく思ったのは、買い物、病院もあるんですけども、いわゆる温泉を利用したいという声が非常にありました。それで、そうであるならば、温泉の施設とも連携をとって、温泉目的の、このバスの運行とか、要はお互いにウイン・ウインになるようなちょっと形態にしなきゃいけないんですが、検討してみる価値はあるのかな。

なぜそう思ったのかは、今年9月10日に糸魚川市民会館で行われた施設研究大会の講演の中で、社会福祉法人佛子園さんの取り組みを拝見させていただきました。地域住民に施設の交流を深める手法として、温泉の無料化という大胆な取り組みで成果を上げておりました。高齢者の生きがいがづくりや外出支援として、体を動かす目的として市が行っている老人いこいの家の活用方法など、そういったものを路線バスとかとリンクさせながら、何か高齢者にとってもバス会社にとっても利益のあるような方法が何かできないかなと思ったんですが、そういった検討をぜひしていただきたいんですが、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

ご提言大変ありがとうございます。糸魚川の場合、笹倉温泉ですとか権現荘とか、割かし目的地となるところが路線バスでいう一番端部といいますか、そういうところにある程度固まったお客さんを運ぶということがございます。端部ということは、走行区間というのがかなりいろんな地域を回って入ってくるという、そういう実情がございますので、たまにとかイベント的に今ワンコインバスとかそういうことをやっておりますけど、温泉バスとかそういう企画的なことはできるかと思うんですけど、温泉をメインにというふうになかなか考えますと、中間的にいろんな地域でいろんなニーズを拾いながらの端っこにある温泉ということもあるものですから、そういうところも合わせて考えていく必要があるかと思っておりますので、今回のそういう温泉をターゲットにしたというところは、ご意見としていただきたいと思っております。ありがとうございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

高齢者の交通の助成につきましては、お出かけパス半年あるいは1カ月のフリーパス券ございますので、そういったものを活用していただいて、いこいの家へ行く交通手段としていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ぜひ検討をお願いします。

最後に、難病、重度障害を持つ子供の世帯の支援であります。

市内で、いわゆる前例がない病気等の対応となるとなかなか担当職員の方も大変かとは思いますが、そういった対応マニュアルとかそういうものというものはあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

マニュアルは存在するかというご質問ですが、マニュアルは今、現段階では持っておりません。そういった特異な病気にかかれて、ご出産になられたという場合には、医療機関と連携をとりまして、そういった養育支援会議というものを県、市、医療機関等と関係機関が連携して、会議を行っております。うちの保健師がご自宅であればご自宅に訪問させていただく中で支援方策を関係機関と共有して、必要な支援をさせていただいてるというような現状でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私が相談を受けた方は、支援が受けられなくていろんな家の中の少しリフォームをしたというお話を聞いておまして、それは情報が足りなくてそうだったのか、制度がなくてそうだったのかというのは、ちょっと詳しく聞けなかったんですけども、逆に言うとやはりそういうのがあからさまにわかるようにさえしてといていただければ、何か不測の事態にも市民も迷わずに対応できるかと思うので、その窓口であったり、ホームページの作り方であったり、そういったところにぜひ工夫をしていただきたいと思いますと思うんですが、その辺の対応いかなるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

障害者に対する各種補助事業、リフォームも含めてございますが、福祉事務所でいろんな制度が

ございます。冊子にして、しおりでお配りしておりますが、非常に制度が複雑・多岐でございます。また、ホームページでも公開しておりますが、不明な点があれば市役所のほうで、またご相談させていただきたいと思っておりますので、ぜひ必要な方はご活用いただきたいと思いますと思っております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

今回、相談を受けた方、特に本当に赤ちゃんというか小さなお子様で、バギーカーにいろいろなまた装置とかついたりという特殊なバギーカーらしいんですね。そういった支援をぜひお願いしたいんですが、その辺大丈夫でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

お答えいたします。

生まれたばかりの障害をお持ちのお子さんにつきましては、やはりまだ障害が固定してないということで、障害者手帳が取得できない状況であります。そういった方につきましても、やはり県のほうで認定があれば、小児慢性特定児童ということで、そういったバギーカーの給付も行っておりますし、手帳が取得できれば補装具ということで一定の基準額ございますが、その範囲の中で、基本的には所得によって補助が異なる部分があるんですが、個人負担1割でご購入いただいておりますので、そういった制度もご活用いただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

すみません、私の勉強不足なところありました。でもぜひ市民にわかりやすいサービスをお願いいたします。

終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

次に、山本 剛議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。〔3番 山本 剛君登壇〕

○3番（山本 剛君）

清政クラブの山本です。

今回、平成31年度全国学力・学習状況調査の結果についてをお伺いいたします。